

## 講 義 要 項

授業科目		統合看護技術		担当者	向吉 喜美代
区分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後
	1 単位	30 時間	講義・演習・DVD・その他		3 年次・後期
授 業 目 標	1. 多重課題トレーニングを通して状況判断能力・優先順位判断力の向上を図る。 2. 臨床現場を再現した環境でシミュレーション学習を行い、知識・技術・態度が強化できる。 3. 対象の状況を配慮し、倫理性を考慮した援助が理解できる。				
授 業 計 画	1. 統合看護技術の位置づけと必要な能力 1) 統合看護技術の位置づけと考え方 2) 多重課題の事例と対応 3) リーダーに求められる判断能力 2. 演習：多重課題トレーニング 1) 事例の理解 2) 優先順位の決定 3) 多重課題における危機 4) 援助の実際 5) 援助の実際と評価 6) まとめ 1. OSCE(客観的臨床能力試験) 1) 演習オリエンテーション・シナリオの理解 2) 演習 3) 学力試験・OSCE				
参 考 文 献 等	1. 配布資料				
評 価	1. 演習内容（記録物・実施） 2. OSCE（客観的臨床能力試験）・筆記試験				
備 考	実務経験：助産師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。 演習が中心になる科目です。 3年間の学習内容を活用し、状況判断の重要性と安全な看護実践について学習しましょう。 チームで取り組むことで相互に課題を見出すとともに、自己の看護実践における課題を見出していきましょう。				